

モデル漁村計画案(岡山県備前市)

漁村計画は、長期的・総合的に地域の振興の目標を達成するためにどのような施設が必要であるかを体系的に整理するものです。ここでは、各モデル地区の関係者が協議した内容を漁村計画としてとりまとめたものを示しています。

1-1. 地区の問題点・課題と漁村構想(案)

都道府県	岡山県	地区名	備前市(全域)地区	策定主体	※市、漁協、まちづくり組織、市民代表(県オブザーバー)	策定年度	令和5年度(令和6年3月)	目標年度	令和25年度(20年後)
3 現 況 ・ 課 題 等	1. 地区の概況 備前市は、岡山県沿岸東南端の兵庫県との県境に位置する面積258.14km²の市である。県都岡山市、岡山空港等とも比較的近く、高速道路等広域交通機関も充実している。 南部の瀬戸内海には大小の島々から多島美が形成されており、カキ養殖の好漁場を形成している。一方、北部は吉備高原を形成する丘陵地となっており、市全体の8割程を山林が占める。西端には県三大河川の一つ「吉井川」が流れ、豊かな自然環境に恵まれているとともに、温暖な気候の地方都市を形成している。 ・令和4年の人口、世帯数(住民基本台帳)は32,348人(R4H25=0.85)、15,390世帯(R4H25=0.96)と緩やかな減少を見ている。 ・製造業を中心とした商工業、農林漁業、特にカキ養殖を中心に漁業・養殖業が盛ん。 ・観光入込客数は88万人/年程で、関西方面からの観光客も多いが、周年観光が課題。 図-1 備前市位置図								
	2. 構想の地域(範囲) 本構想策定地域(範囲)は、備前市沿岸域全域とする。 ※備前市は、地域区分としては、右図に示すように、北部内陸が吉永エリア、合併以前の旧備前市にあたる備前エリア、旧日生町にあたり日生エリアの大きくは3エリアに区分されるが、本構想は、漁業・水産業、漁港漁村、海業などが主対象となることから、備前エリアの沿岸部と離島部を含めた日生エリアを構想策定範囲とした。 図-2 備前市位置図								
	3-1. 地区の問題点・課題の総括 カキ養殖中心の漁業形態で、沿岸漁船漁業の低迷がみられ、周年を通じた複合的漁業経営や海業振興が課題となっており、大量に発生するカキ殻を活用した海洋環境改善による持続可能な漁業・養殖業および海業振興による海、漁業・養殖業および食文化を活用した地域振興が求められている。								
	3-2. 個別項目別現況・課題 (1)水産業振興上の現況・課題 ① 市内には、日生町漁協と伊里漁協の2漁協があり、漁業生産額は近年ほぼ12億円で横ばい推移している。総生産額のうち9割強をカキ養殖業が占める一方、漁船漁業(船曳網、小底、刺網、一本釣等)は小規模であるうえに、水産資源の悪化や高齢化に伴う就業者の減少が課題となっている。 ② カキ養殖(最近5年平均生産量=1,400ト)生産に伴い、大量のカキ殻が発生している。 ③ 片上湾を始め、漁場環境の悪化(藻場・干潟の喪失)が見られ、漁船漁業対象資源への悪影響が懸念されている。 ④ 漁船漁業の対象種であるチヌ(クロダイ)は、養殖しているカキの稚貝を捕食する(※養殖中の殻長1cm程のカキがチヌの餌となっている)ことで迷惑がられたとともに、市場単価が安かったため積極的に漁獲されていなかった。しかし、近年では加工業者とタイアップして新たな加工品を開発し、出荷単価は8倍に上がったうえ、チヌ不足が生じている。この経験を踏まえ、チヌ以外の魚種についても新しい取り組みにより魚価向上を図る必要がある。なお、鹿久居島・頭島等の間の海域には漁船漁業の禁漁区があるが、このエリアで建て網漁業等を行えば、カキ養殖を邪魔せずチヌを獲れる可能性がある。 ⑤ 漁業者は、このままでは10年後・20年後に減少することが考えられるため、人材を確保・育成することが重要。ただし、新規参入時においては十分な資金支援はなく、例えばカキ養殖を新規で行う場合の初期投資費用は約5,000万円である。また、弟子を受け入れる側の資金の余裕もない。								
	(2)生活環境整備上の現況・課題 ① 市街地区域では、木造家屋等が密集する地区が立地しており、火災や自然災害上の問題がある。 ② 日生地区の離半島区域 ・鹿久居島架橋後、車両交通量が増えたが、島内の基幹道路や周回道路の幅員・線形に問題があったり、未整備部分がみられる。 ・離半島部の高密度な漁村集落内道路が狭く、緊急車両の進入が困難な地区もある。								
	(3)大規模災害対策上の現況・課題 ① 南海トラフ地震・津波も警戒が必要であるが、頻繁に来襲する台風による高潮(※大規模な台風が1回/年程は来襲し、特に、日生市街地の浸水被害がみられる)対策が必要。								
	(4)海業振興上の現況・課題 ① 備前市の海業の基本は、既存の漁業と食文化の伝統を活用することにある。 ② 冬の海業資源は「カキオコ」(※特産のカキを使用したお好み焼き)など豊富であるが、1年を通じて来訪者を呼ぶ資源がない。 ③ 五味の市(日生町漁協)、真魚市(伊里漁協)など漁協経営の直販所が長年営業しているが、漁船漁業の低迷により特に夏季の売り上げ、来訪者数が頭打ち傾向にあり、てこ入れが必要である。 ④ 遊漁振興による付加価値化の可能性(※(1)の④参照)がある。								
	(5)その他の現況・課題 ※特になし								
	3-3. その他 ※「日生カキオコまちづくりの会」や「合同会社YoMA」など自主的なまちおこし住民組織の活動が活発である。 ※地域おこし協力隊メンバーが定住し、まちおこし活動にとりくんでいる事例(まちなかカフェが多く立地)が見られる。 ※離島別荘地「鴻島」、恋人たちの聖地「鶴島」、「大多府島」の元禄防波堤(国有形文化財)等固有の離島資源が豊富。								
	3-4. 住民の意向等(アンケート、懇談会、ワークショップ等の結果) ① 事務局は、対象2漁協、まちおこし組織メンバー、行政(市関係課)およびオブザーバーとして県関係課の参加による計3回の協議会(意見交換と構想・計画内容の共有・合意)を実施した。なお、1回目の協議会では関係者の現状や課題認識を自由に引き出すため、KJ法を用いたワークショップ形式の会議を実施した。 ② 事務局は、協議会での議論の間に、関係者に対する具体的課題・問題点と構想・計画意向等についての聞取調査を実施した。構想・計画対象は、市全域(特に沿岸部)に及ぶことから、理想的には市民に対する抽出アンケート実施の選択肢もあったが、今回は、漁村計画の主な関係者の合意形成が優先されるべきという判断で関係者への聞取調査にとどめた。								

都道府県	岡山県	地区名	備前市(全域)地区	策定主体	市、漁協、まちづくり組織、市民代表(県オブザーバー)	策定年次	令和 5 年度(令和 6 年 3 月)	目標年度	令和 25 年度(20 年後)	
4 構 想	4-1. 漁村振興のテーマ		「里海」創出による持続可能な漁業・養殖業と海業振興による地域振興							
	4-2. 漁村振興の目標		海の環境改善指標（藻場・干潟面積の拡大）、海業来訪者数の増加							
	4-3 個別項目別構想									
	4 4 項 目 別 構 想 ― 方 針	（１）水産業振興の構想(方針) ① 日生地区においてアマモ場の保全およびカキ殻を利用した日生型の里海を創出する(詳細事項としては下記②～④によるものとする)。 ② カキ殻の有効活用に向けた域内循環システムの構築 ・大量発生するカキ殻の水中仮置場→陸上仮置場→粉碎・その他商品製造工場の一連の「循環システム」を、市内に構築 ③ 沿岸海域の環境改善 ・県ガイドラインに沿ってカキ殻の敷設による海域の環境改善効果を検証しながら、カキ殻を活用した藻場・干潟の保全・造成と底質改良等総合的な海域環境の改善を進める ④ 漁船漁業の振興 ・当地の漁船漁業は、瀬戸内海の典型的な少量多品種の小魚を対象としており、漁場環境改善(藻場・干潟・海底清掃・海底耕耘)およびカキ殻を活用した魚礁・増殖場の整備と併せて、商品価値の高い定着型の魚介類(ガザミ、クルマエビ、ヨシエビ、オニオコゼ等)の種苗放流を進め、年間を通じて操業可能な漁船漁業の再生を図る ⑤ チヌの活用 ・釣り人に人気のあるチヌ対象遊漁の振興(※カキ筏の釣り台兼用、瀬渡しによる漁業者兼業所得機会創出等)を図る ・漁船漁業の禁漁区において限定的に漁具・漁法の緩和をする等、チヌによる食害の防止策を講じる ⑥ 漁業者の人材確保・育成に向けた支援体制の構築 ・現在の弟子入り制度の運用面・資金面について改めて議論するとともに、将来の漁業者の人材確保・育成に向けた支援体制を構築する								
		（２）生活環境整備の構想(方針) ① 市街地内の木造家屋等が密集する地区の段階的防災・生活環境改善 ・市の漁業集落環境整備事業等の導入検討に沿って本土市街地内の密集地区の段階的・選択的区画整理の推進を図る(※事前復興計画との調整・連携) ② 離半島部の漁村集落の道路整備を中心とした生活環境改善(※事前復興計画との調整・連携) ・市の道路事業スケジュールと調整・準備を行った後、各離半島地域の基幹道路の部分的幅員・線形の改良について検討する ・市の漁業集落環境整備事業の導入検討に沿って各離半島地域の高密度漁村集落内の狹隘道路改良・共同駐車場の整備を図る								
		（３）大規模災害対策の構想（方針） ① 南海トラフ地震・津波を想定した事前復興計画(水産業に関するBCP 含)策定と計画の順次実施 ② 日生市街地の高潮常襲(浸水)区域の高潮防止対策の推進(※事前復興計画との調整・連携)								
		（４）海業振興の構想（方針） ① 既存の食の観光資源の磨き上げ・集客力の向上 ・カキオコ後継者の育成・確保による冬場の食の観光の目玉の維持とカキオコ通りなどまちづくりとの連携 ・五味の市（日生町漁協）と真魚市（伊里漁協）の周年提供可能な地魚の確保（漁船漁業振興）と魅力向上 ・まちなかカフェの維持とまちづくりや活性化の核としての役割発揮 ・食の周年観光のための夏場の特産魚介類のブランド化・料理開発（※漁協とまちなかカフェ等の協力・連携） ② カキ筏を活用したチヌ釣り台観光振興（※瀬渡船、遊漁案内業船兼業による漁業者所得補完） ③ 既存観光施設（五味の市・真魚市、カキオコ店、まちなかカフェ等）による各離半島観光情報発信と誘客 ④ 滞在型観光アクティビティの創出（体験漁業、カキ筏オーナー制、藻場・干潟づくり体験等）								
		（５）その他の構想(方針) ※特に無し								
5. 構想実現に向けての留意事項 ① 対象地域は全て都市計画区域指定で、備前市都市計画マスタープラン(令和 4 年 2 月改定版)および同立地適正化計画(令和4年4月策定:令和 22 年度目標年次)が、ほぼ本漁村計画と時期的にリンクするため連携・調整が必要である。 ② 第 3 次備前市総合計画(令和 3 年 9 月策定)の基本構想の計画期間は 10 年間、基本計画の計画期間は前期・後期各 4 年の 8 年間としており、ほぼ計画期間が合致する漁村計画との連携・調整が必要である。 ③ 本漁村計画は、現在の岡山県東部広域浜プラン(令和7年度目標)および、備前市地区浜プラン(令和5年度目標)の趣旨・目標を尊重するとともに、その後の広域および地区浜プランと整合を持つ必要がある。										

26

27

2－1. 漁村基本計画(案)

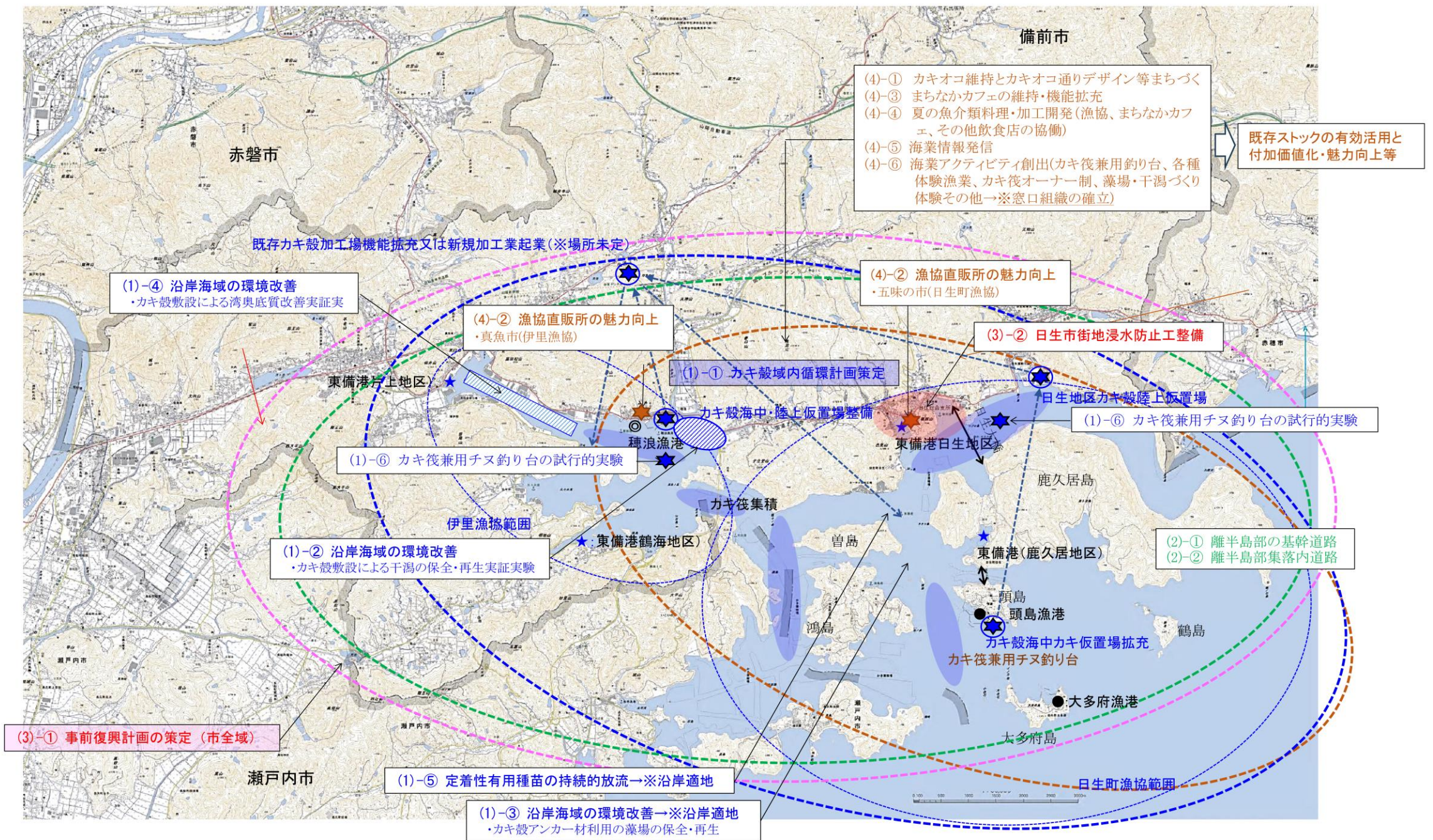
都道府県	岡山県	地区名	備前市(全域)地区	策定主体	市、漁協、まちづくり組織、市民代表、(県オブザーバー)	策定年度	令和 5 年度(令和 6 年 3 月)	目標年度	令和 15 年度(10 年後)																																																																																																																																																						
1－1.漁村構想のテーマ		「里海」創出による持続可能な漁業・養殖業と海業振興による地域振興				1-2. 漁村構想の目標	海の環境改善指標(藻場・干潟面積の拡大)、海業来訪者数の増加																																																																																																																																																								
2 漁村基本計画	2-1. 基本計画の目標・方針																																																																																																																																																														
	備前市は、2漁協が、穏やかな瀬戸内の入り組んだ湾と多島海を漁場に、カキ養殖中心の漁業形態で、沿岸漁船漁業は縮減傾向にある。一方、関西・姫路方面を起点とする観光来訪者も 90 万人程で、既存の食や別荘・リゾートマンション型観光や「カキオコ」や漁協自営直販所である五味の市、真魚市などの食の観光の伝統がある。更に、近年では、地域おこし協力隊他市民による「まちなかカフェ」の取り組みなどまちおこし組織の活動も活発で、海業振興の可能性も高い。																																																																																																																																																														
	備前市漁村計画は、アマモ場の保全と大量に発生するカキ殻を活用した里海創りに向け、多様な漁船漁業の再生を図ると同時に安定した養殖ガキの生産により、海、漁業・養殖業、食文化を核とした海業の振興による地方都市の地域振興を目指し、10 年後を想定した基本計画では、以下の内容(※2-2 参照)を実施することを目標とする。																																																																																																																																																														
	1. 水産業振興面では、先ず、「カキ殻の域内循環に関する施設整備・運営システム計画」を策定すると同時に、「沿岸域の環境改善(干潟・藻場造成及び底質改善)」を既存の材料などを利用しながら県ガイドラインに即しながら実践する。更に、「定着性の有用種苗の放流」を資源管理とともに継続的に実施し、縮減傾向にある漁船漁業の振興・再生に着手する。また、漁業者の兼業所得機会創出と生育中の養殖カキの食害動物であるチヌの活用を目指して、カキ筏兼用の「チヌ釣り台の活用」に一部着手する。																																																																																																																																																														
	2. 生活環境整備面では、日生地区の離半島部の「基幹道路の改良」と「高密度集落内道路整備」について、10 年以内に計画・準備し、優先順位を決めて事業の実施に着手する。																																																																																																																																																														
	3. 大規模災害対策面では、「各種災害を想定した備前市事前復興計画(漁業 BCP 含)」の策定に着手するとともに、「日生市街地における台風・高潮による浸水地域の防潮対策」の事業化可能性を検討する。																																																																																																																																																														
	4. 海業振興面では、「カキオコ維持とまちづくり」、「漁協 2 直販所の魅力向上」、「まちなかカフェの機能拡充」、「夏の魚介類料理・加工開発」や「海業アクティビティ創出」による周年観光資源の創出に着手すると同時に、「既存集客施設や IT を活用した海業や離半島観光情報の発信」に着手する。																																																																																																																																																														
	2-2.個別項目別基本計画と構想との関連等																																																																																																																																																														
	<table><tr><th rowspan="2">項 目</th><th rowspan="2">基本計画種目</th><th rowspan="2">概略数量</th><th rowspan="2">施設整備の概要・方針等</th><th colspan="4">実現化ロードマップ・イメージ</th></tr><tr><th>前 期 (1～3 年)</th><th>中 期 (4～6 年)</th><th>後 期 (7 年～)</th><th>留意事項</th></tr><tr><td rowspan="6">水産振興 基本計画</td><td>①カキ殻域内循環計画策定</td><td>一式</td><td>カキ殻の本格的域内循環施設・運営システム計画の検討</td><td>○</td><td></td><td></td><td>※関係者による市内でのカキ殻域内循環施設整備及びシステム・運営計画策定</td></tr><tr><td>②沿岸海域の環境改善-1</td><td>一式</td><td>機能劣化が著しい干潟区域へのカキ殻の敷設</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>※既存のカキ殻粉砕片を活用し、体験事業化を含めて、試行的に実施</td></tr><tr><td>③沿岸海域の環境改善-2</td><td>一式</td><td>藻場減少海域におけるカキ殻をアンカー材とした藻場造成</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>※既存のカキ殻粉砕片を活用し、体験事業化を含めて、試行的に実施</td></tr><tr><td>④沿岸海域の環境改善-3</td><td>一式</td><td>底質劣化海域におけるカキ殻の敷設による底質改善</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>※既存のカキ殻粉砕片を活用し、漁業者による試行的実施</td></tr><tr><td>⑤定着性有用種苗の放流</td><td>一式</td><td>ガザミ、エビ類、オニオコゼ他継続的有用種苗放流と管理</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>※漁船漁業振興に向けた継続的有用種苗の放流と資源管理一</td></tr><tr><td>⑥チヌ釣り台の活用</td><td>4基</td><td>日生町漁協、伊里漁協内カキ筏2基程度ずつを釣り台利用</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>※漁業者兼業瀬渡し船、遊漁案内業船準備、釣り台安全対策等実証実験後本格化</td></tr><tr><td rowspan="4">生 活 環境整備 基本計画</td><td>①離半島部の基幹道路改良</td><td>一式</td><td>離半島部の周回道路等基幹道路の幅員・線形改良</td><td></td><td></td><td>○</td><td>※市道事業スケジュール調整・準備の後、優先順位に沿って実施(海業振興含)</td></tr><tr><td>②離半島部集落内道路整備</td><td>一式</td><td>離半島部の高密漁業集落の集落内道路・駐車場等整備</td><td></td><td></td><td>○</td><td>※優先順位に沿った離半島部集落の漁業集落環境整備事業の導入検討</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">大 規 模 災害対策 基本計画</td><td>①事前復興計画の検討</td><td>—</td><td>各種災害を想定した備前市事前復興計画の策定(漁業 BCP 含)</td><td>○</td><td>○</td><td>事業化検討</td><td>※南海トラフ地震・津波及び高潮、河川氾濫等を想定した事前復興計画検討・策定</td></tr><tr><td>②日生市街地浸水防止工</td><td>一式</td><td>日生市街地における台風・高潮による浸水地域の防潮対策</td><td>計画・準備</td><td>計画・準備</td><td>○</td><td>※東備港港湾整備事業との調整</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">海業振興 基本計画</td><td>①カキオコ維持とまちづくり</td><td>一式</td><td>カキオコ後継者育成・維持とカキオコ通りのデザインや共通PR</td><td></td><td></td><td>○</td><td>※カキオコ店舗通りにおける照明、ベンチ、魅力的歩道舗装等キオコストリート創出</td></tr><tr><td>②漁協 2 直販所の魅力向上</td><td>2箇所</td><td>夏場の品薄感を克服する加工品開発と漁船漁業振興</td><td></td><td></td><td>○</td><td>※カキ以外の漁船漁業対象漁獲物の拡大と新たな調理・加工開発等</td></tr><tr><td>③海業情報発信</td><td>一式</td><td>既存集客施設や IT を活用した海業や離半島観光情報の発信</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>※観光協会・商工会等と連携したIT環境(HPや SNS 等)</td></tr><tr><td>④海業アクティビティ創出</td><td>一式</td><td>漁協、まちおこし組織協働の海業アクティビティと施設づくり</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>※カキ筏兼用釣り台、体験漁業、カキ筏オーナー制、藻場・干潟づくり体験等</td></tr><tr><td>(5) そ の 他</td><td>特になし</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table>									項 目	基本計画種目	概略数量	施設整備の概要・方針等	実現化ロードマップ・イメージ				前 期 (1～3 年)	中 期 (4～6 年)	後 期 (7 年～)	留意事項	水産振興 基本計画	①カキ殻域内循環計画策定	一式	カキ殻の本格的域内循環施設・運営システム計画の検討	○			※関係者による市内でのカキ殻域内循環施設整備及びシステム・運営計画策定	②沿岸海域の環境改善-1	一式	機能劣化が著しい干潟区域へのカキ殻の敷設		○	○	※既存のカキ殻粉砕片を活用し、体験事業化を含めて、試行的に実施	③沿岸海域の環境改善-2	一式	藻場減少海域におけるカキ殻をアンカー材とした藻場造成		○	○	※既存のカキ殻粉砕片を活用し、体験事業化を含めて、試行的に実施	④沿岸海域の環境改善-3	一式	底質劣化海域におけるカキ殻の敷設による底質改善		○	○	※既存のカキ殻粉砕片を活用し、漁業者による試行的実施	⑤定着性有用種苗の放流	一式	ガザミ、エビ類、オニオコゼ他継続的有用種苗放流と管理		○	○	※漁船漁業振興に向けた継続的有用種苗の放流と資源管理一	⑥チヌ釣り台の活用	4基	日生町漁協、伊里漁協内カキ筏2基程度ずつを釣り台利用	○	○	○	※漁業者兼業瀬渡し船、遊漁案内業船準備、釣り台安全対策等実証実験後本格化	生 活 環境整備 基本計画	①離半島部の基幹道路改良	一式	離半島部の周回道路等基幹道路の幅員・線形改良			○	※市道事業スケジュール調整・準備の後、優先順位に沿って実施(海業振興含)	②離半島部集落内道路整備	一式	離半島部の高密漁業集落の集落内道路・駐車場等整備			○	※優先順位に沿った離半島部集落の漁業集落環境整備事業の導入検討	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	大 規 模 災害対策 基本計画	①事前復興計画の検討	—	各種災害を想定した備前市事前復興計画の策定(漁業 BCP 含)	○	○	事業化検討	※南海トラフ地震・津波及び高潮、河川氾濫等を想定した事前復興計画検討・策定	②日生市街地浸水防止工	一式	日生市街地における台風・高潮による浸水地域の防潮対策	計画・準備	計画・準備	○	※東備港港湾整備事業との調整	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	海業振興 基本計画	①カキオコ維持とまちづくり	一式	カキオコ後継者育成・維持とカキオコ通りのデザインや共通PR			○	※カキオコ店舗通りにおける照明、ベンチ、魅力的歩道舗装等キオコストリート創出	②漁協 2 直販所の魅力向上	2箇所	夏場の品薄感を克服する加工品開発と漁船漁業振興			○	※カキ以外の漁船漁業対象漁獲物の拡大と新たな調理・加工開発等	③海業情報発信	一式	既存集客施設や IT を活用した海業や離半島観光情報の発信		○	○	※観光協会・商工会等と連携したIT環境(HPや SNS 等)	④海業アクティビティ創出	一式	漁協、まちおこし組織協働の海業アクティビティと施設づくり		○	○	※カキ筏兼用釣り台、体験漁業、カキ筏オーナー制、藻場・干潟づくり体験等	(5) そ の 他	特になし	—	—	—	—	—	—
	項 目	基本計画種目	概略数量	施設整備の概要・方針等	実現化ロードマップ・イメージ																																																																																																																																																										
前 期 (1～3 年)					中 期 (4～6 年)	後 期 (7 年～)	留意事項																																																																																																																																																								
水産振興 基本計画	①カキ殻域内循環計画策定	一式	カキ殻の本格的域内循環施設・運営システム計画の検討	○			※関係者による市内でのカキ殻域内循環施設整備及びシステム・運営計画策定																																																																																																																																																								
	②沿岸海域の環境改善-1	一式	機能劣化が著しい干潟区域へのカキ殻の敷設		○	○	※既存のカキ殻粉砕片を活用し、体験事業化を含めて、試行的に実施																																																																																																																																																								
	③沿岸海域の環境改善-2	一式	藻場減少海域におけるカキ殻をアンカー材とした藻場造成		○	○	※既存のカキ殻粉砕片を活用し、体験事業化を含めて、試行的に実施																																																																																																																																																								
	④沿岸海域の環境改善-3	一式	底質劣化海域におけるカキ殻の敷設による底質改善		○	○	※既存のカキ殻粉砕片を活用し、漁業者による試行的実施																																																																																																																																																								
	⑤定着性有用種苗の放流	一式	ガザミ、エビ類、オニオコゼ他継続的有用種苗放流と管理		○	○	※漁船漁業振興に向けた継続的有用種苗の放流と資源管理一																																																																																																																																																								
	⑥チヌ釣り台の活用	4基	日生町漁協、伊里漁協内カキ筏2基程度ずつを釣り台利用	○	○	○	※漁業者兼業瀬渡し船、遊漁案内業船準備、釣り台安全対策等実証実験後本格化																																																																																																																																																								
生 活 環境整備 基本計画	①離半島部の基幹道路改良	一式	離半島部の周回道路等基幹道路の幅員・線形改良			○	※市道事業スケジュール調整・準備の後、優先順位に沿って実施(海業振興含)																																																																																																																																																								
	②離半島部集落内道路整備	一式	離半島部の高密漁業集落の集落内道路・駐車場等整備			○	※優先順位に沿った離半島部集落の漁業集落環境整備事業の導入検討																																																																																																																																																								
	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																								
	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																								
大 規 模 災害対策 基本計画	①事前復興計画の検討	—	各種災害を想定した備前市事前復興計画の策定(漁業 BCP 含)	○	○	事業化検討	※南海トラフ地震・津波及び高潮、河川氾濫等を想定した事前復興計画検討・策定																																																																																																																																																								
	②日生市街地浸水防止工	一式	日生市街地における台風・高潮による浸水地域の防潮対策	計画・準備	計画・準備	○	※東備港港湾整備事業との調整																																																																																																																																																								
	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																								
	—	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																								
海業振興 基本計画	①カキオコ維持とまちづくり	一式	カキオコ後継者育成・維持とカキオコ通りのデザインや共通PR			○	※カキオコ店舗通りにおける照明、ベンチ、魅力的歩道舗装等キオコストリート創出																																																																																																																																																								
	②漁協 2 直販所の魅力向上	2箇所	夏場の品薄感を克服する加工品開発と漁船漁業振興			○	※カキ以外の漁船漁業対象漁獲物の拡大と新たな調理・加工開発等																																																																																																																																																								
	③海業情報発信	一式	既存集客施設や IT を活用した海業や離半島観光情報の発信		○	○	※観光協会・商工会等と連携したIT環境(HPや SNS 等)																																																																																																																																																								
	④海業アクティビティ創出	一式	漁協、まちおこし組織協働の海業アクティビティと施設づくり		○	○	※カキ筏兼用釣り台、体験漁業、カキ筏オーナー制、藻場・干潟づくり体験等																																																																																																																																																								
(5) そ の 他	特になし	—	—	—	—	—	—																																																																																																																																																								
3. 基本計画実現のための課題																																																																																																																																																															
・カキ殻を域内循環させて、新たな産業づくりにまで発展させるには用地(カキ殻仮置き場)の確保や加工施設の誘致等の課題があり、実証実験を試みながら、必要十分な施設整備・運営システム計画を策定・準備する必要がある。																																																																																																																																																															
・その他離半島部の道路整備や、日生市街地の浸水地域の防潮対策など大きな費用を要する施設整備関連基本計画については、漁港・港湾、都市計画その他事業や市の財政状況を考慮しながら進める必要がある。																																																																																																																																																															
・大規模災害対策ハードの実践に向けて、地域独自の災害を想定した事前復興計画の検討・策定が必用であると同時に、高潮等によるカキ筏被害などに対する適正な対応方針(漁業BCP)の検討も重要である。																																																																																																																																																															
・海業振興については、既に既存ストックが充実しており、離島観光振興関連の施設整備を除き、体制構築や情報発信、海業資源開発などソフト事業が中心となる。既存の価値や資源を活用した「特産カキオコの担い手確保による継承(※カキオコ後継者育成・維持とカキオコ通りのデザインや共通PR等)」、「独自の“まちなかカフェ”の継承と機能の拡充(※まちなかカフェの維持とまちづくり拠点としての活動活発化等)」、「集客資源の少ない夏場の魅力向上のための夏場の地場魚介類料理や加工品開発(※漁協、まちなかカフェ協働の夏の魚介類の調理法や加工開発等)」などに関係者が一体となって取り組んでいく必要がある。																																																																																																																																																															

注 1: 基本計画種目は、全ての項目にまたがる必要はなく、「漁村構想」を踏まえた「漁村基本計画」として必要な計画種目を地域の実情から抽出・整理したものである

注 2: 実現化ロードマップ・イメージ欄は対象となる基本計画に着手する時期について該当する欄に○をつけるとともに、スケジュール上の留意事項を記述する

2-2. 漁村基本計画図（案）

漁村基本計画図（10年後目標）案



漁港	●	第1種漁港(岡山県管理)	※日生町漁協管内離島2漁港立地
	◎	第2種漁港(岡山県管理)	※伊里漁協管内1漁港(穂浪漁港)が立地し、伊里漁協の根拠港として利用
港湾	★	地方港湾(岡山県管理)	※地方港湾東備港の港湾区域は広く市沿岸全域に及び、うち日生地区が日生町漁協の根拠港として利用

：カキ漁場形成イメージ

水産業振興課題	
生活環境整備課題	
大規模災害対策課題	
海業振興課題	
その他	